こんにちは
いつもお世話になっております

三栄だより

第４号
（２０１０年 新年号）
－発行元－
㈱三栄サービス
東京都東村山市
久米川町１－１６－５
環境マネジメントシステム
エコアクション２１認証登録
IGES 0002394号

年頭のご挨拶

代表取締役
紺野 武郎

新年明けましておめでとうございます

日頃、資源リサイクルの色々な運動や事業に、ご支援ご協力を賜り心から御礼を申し上げます。

大変厳しい経済環境が続き、好転の兆しが見えないまま新たな年を迎えました。

昨年の資源リサイクル市況を振り返って見ますと、

古紙も鉄スクラップも銅やアルミなどの非鉄金属類も、世界同時恐慌の影響で価格は暴落し、発生量も二〇～三〇％減少致しました。

古紙類は、新聞の頁数や折込チラシの減少、雑誌など刊行物の講読部数減少などの影響によって、古紙類の発生も二〇％ほど縮小しました。

鉄や非鉄金属類のスクラップも、自動車産業や土木建築業などの不振で、発生が大きく落ち込んでしまいました。

再生資源類の発生は減少しましたが、それを原料として再利用し、製品を製造する国内の製紙・製鉄メーカーなどがさらに減産を強めました。従って、再生資源類は余剰化し価格も下落したままになっています。

なお、お隣の中国は、不況対策として大規模な内需拡大政策を進めましたため、いち早く経済は復興いたしました。

そのため我が国の再生資源類は、安価ながら大量に中国に輸出することになりました。

今後、日本の再生資源類の流れは、どうなるのでしょうか。

実はこの十年余り、再生資源物は、回収率が向上して利用率を上回り、余った分は中国などに輸出しています。

その量が毎年増加の一途を辿っていますが、今回の経済恐慌で、さらに国内での使用量が減少し、輸出する量が増加したわけです。

世界中から輸入してきた資源やエネルギーを消費して我が国の衣食住は成り立っています。その結果生まれる再生資源を海外に還元するのは当然のことです。

従って再生資源の海外輸出は、日本のリサイクル事業を推進するうえからも、今後とも拡大して行くことになるのではと思います。

今から、もっとやらなければならないことはなんだろうか。

資源回収には表面に出ない部分で多額のコストが掛かっています。特に容器類は、びん・缶・ペットボトル・プラ容器など、地方自治体の税金で収集分別加工まで行います。

その回収コストは、製品原価より高いものが殆どです。

全国の自動販売機の電気の使用量は、原子力発電所一機分にもなるそうです。

レジ袋を使わないマイバック運動が叫ばれています。しかし、レジ袋の何十倍も無駄遣いしているものが私たちの周りには、まだ沢山あります。

消費したものは、先ずリサイクルしなければなりません。その前に必要なものかどうか。簡単にリサイクル出来るのかどうかを見極め、消費者意識を高め行動することが大切ではと痛感します。

三栄サービスは、平和と環境を常に意識して、緑の地球を守って行くことを誓います。

本年もよろしくお願い申し上げます。

資源回収車両の運転者 安全講習会に参加しました

去る一一月二〇日に、当社の加盟する東多摩再資源化事業協同組合の安全講習会があり、運転者全員で参加しました。

安全意識の向上や、回収員としての心得に関する説明の後、作業上の『ヒヤリ・ハット』について、グループワークを行いました。

ここで一句。

ハッとして
思わず浮かぶ
妻の顔

（当社社員作）

何よりも安全が優先、お客様のためにも、家族のためにも、安全第一で作業を行ってまいります。

２月は清瀬市・小平市の集団回収の〆月となります。期日までに実績報告書を各市へ提出お願いします。